

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第2部門第4区分
 【発行日】平成18年3月16日(2006.3.16)

【公開番号】特開2003-251745(P2003-251745A)
 【公開日】平成15年9月9日(2003.9.9)
 【出願番号】特願2003-34244(P2003-34244)
 【国際特許分類】

B 3 2 B 17/10 (2006.01)

C 0 3 C 27/12 (2006.01)

【F I】

B 3 2 B 17/10

C 0 3 C 27/12 E

【手続補正書】

【提出日】平成18年1月31日(2006.1.31)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 曇り度4%未満の防火・安全グレージング用積層物であって、複数の高弾性率層(A)と、少なくとも1種のフッ素重合体樹脂層(B)とが積層されており、

(B)が(A)の間に設けられ、

前記高弾性率層がガラス、ポリカーボネートあるいはポリウレタンを含み、前記高弾性率層がポリウレタンを含む場合には、前記高弾性率層のショアD硬度が約70より大きく

、前記フッ素重合体樹脂層は、マット仕上げ面、エンボス仕上げ面、あるいはそれらの組み合わせた面を備えた前駆体樹脂ウェブであり、前記マット仕上げ面及びエンボス仕上げ面は約10~500 μ mの範囲の高さを有する突起を含み、

前記フッ素重合体前駆体樹脂ウェブは、有機ガス雰囲気中でコロナ処理を受け、前記高弾性率層が、圧力と熱により前記高弾性率層を前記前駆体樹脂ウェブに積層することにより該フッ素重合体樹脂層に接着していることを特徴とする防火・安全グレージング用積層物。

【請求項2】 フッ素重合体樹脂層が、FEP、PFA、ETFE、ECTFE、PCTFE、PVdF、THV、並びに、これらの混合物及びアロイの内少なくとも一種を含む請求項1に記載の積層物。

【請求項3】 フッ素重合体樹脂層の厚さが5~150ミル(mil)である、請求項1に記載の積層物。

【請求項4】 (A)が2層及び(B)が2層存在し、2層の(B)は、相互に隣接し、共に(A)層の間に存在する請求項1に記載の積層物。

【請求項5】 隣り合う層(A)の各々と層(B)との間には接着層が存在しないことを特徴とする請求項1に記載の防火・安全グレージング用積層物。